

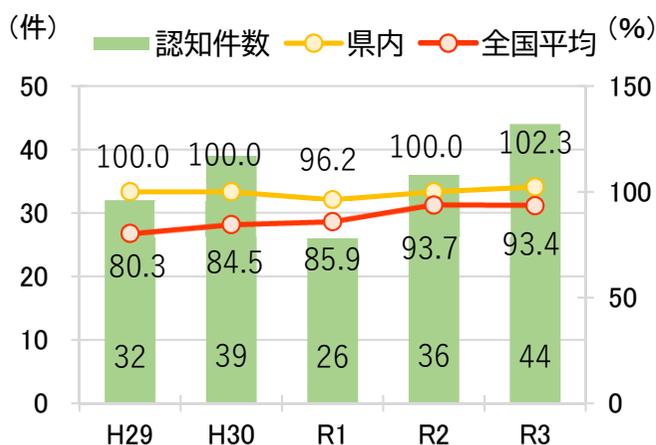
第1 犯罪の認知・検挙状況

刑法犯認知・検挙状況の推移



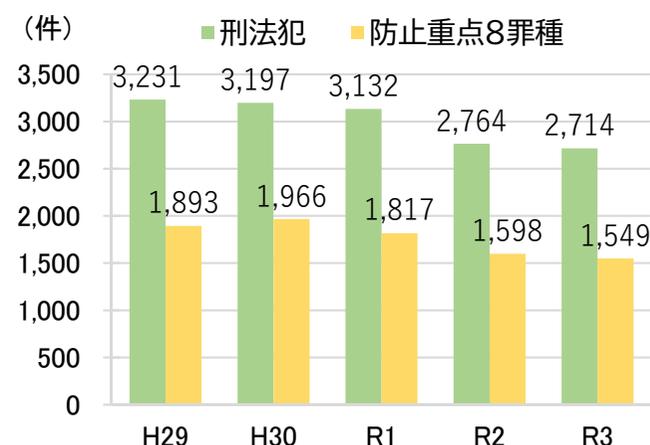
- 刑法犯認知件数は戦後最少を更新
- 検挙率は着実に向上(全国2位)

重要犯罪検挙率の推移



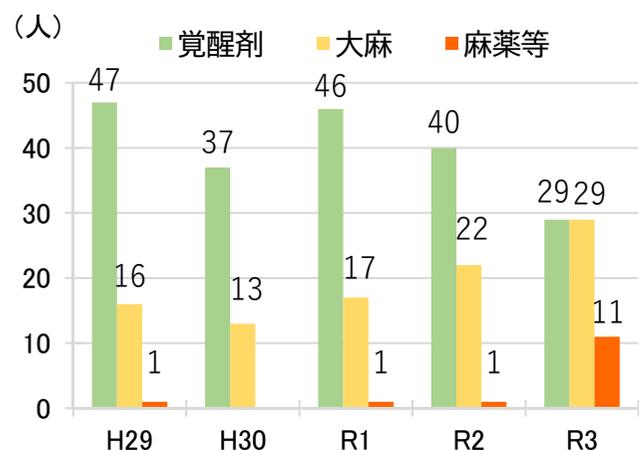
- 重要犯罪の検挙率は高水準を維持

防止重点8罪種の認知状況の推移



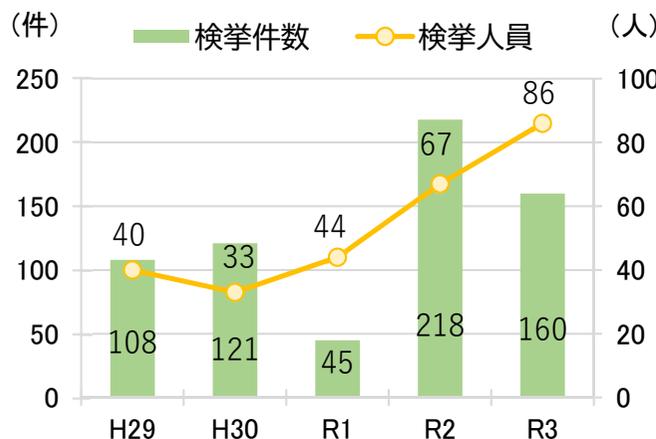
- 防止重点8罪種の認知件数は微減

薬物犯罪検挙人員の推移



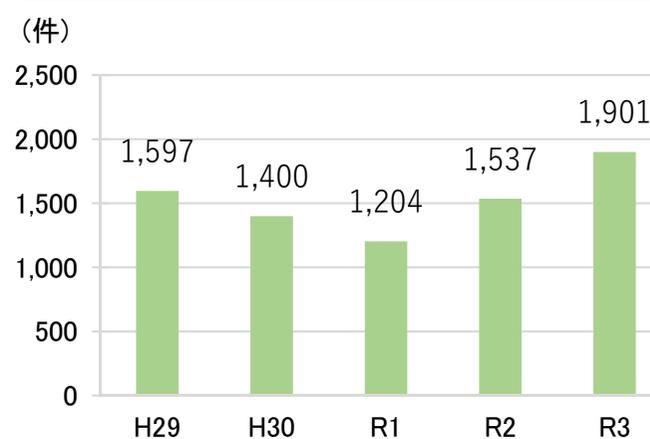
- 大麻・麻薬等の検挙人員が増加傾向

外国人犯罪検挙状況の推移



- 来日外国人犯罪の検挙人員は増加傾向

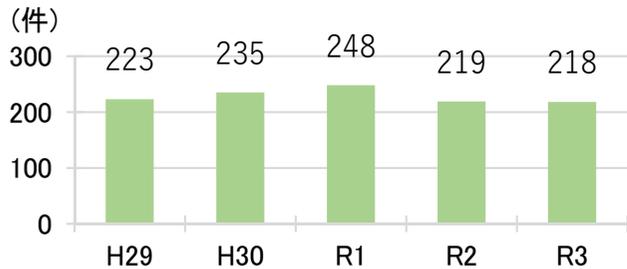
サイバー関連相談受理件数の推移



- サイバー関連の相談件数は増加傾向

子ども

子どもに対する声掛け事案等の推移



➢ 子どもに対する声掛け事案等は200件超の高水準で推移

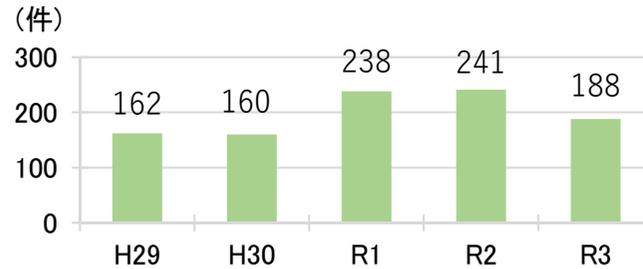
児童虐待事案の認知対応等の推移



➢ 児童虐待認知件数・児童通告人数は高水準で推移

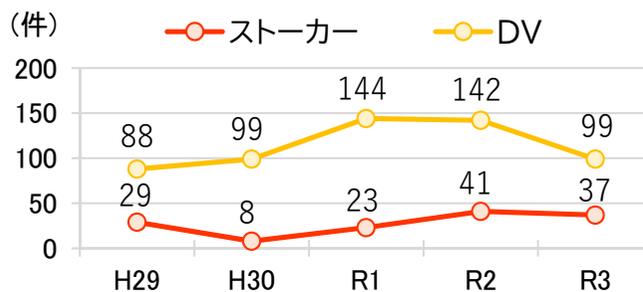
女性

女性対象犯罪の認知件数の推移



➢ 女性対象犯罪の認知件数は高水準で推移

ストーカー・DV事案の検挙状況の推移



➢ ストーカー・DVの検挙件数は高水準で推移

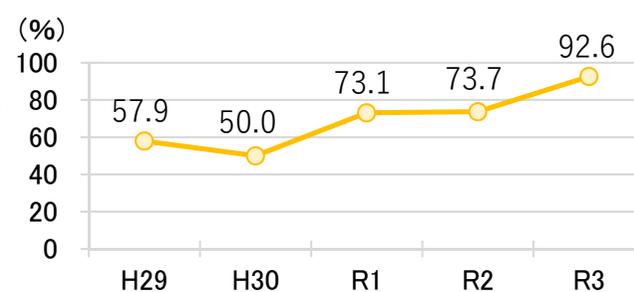
高齢者

特殊詐欺の認知件数の推移



➢ 特殊詐欺の認知件数・被害額は前年より増加

特殊詐欺被害に係る高齢者の割合の推移



➢ 高齢者の割合は増加傾向

- 子どもの登下校時間帯を重点とした、防犯ボランティア等と連携した警戒活動の推進
- 児童相談所と児童虐待事案対応合同訓練の実施など対処能力の強化
- 企業等において、当該企業等で働く女性に対する防犯講座の実施
- 制服警察官の巡回連絡による高齢者等への直接指導や金融機関等と連携した被害防止対策の推進



登校時の見守り活動



児童虐待事案対応合同訓練の実施

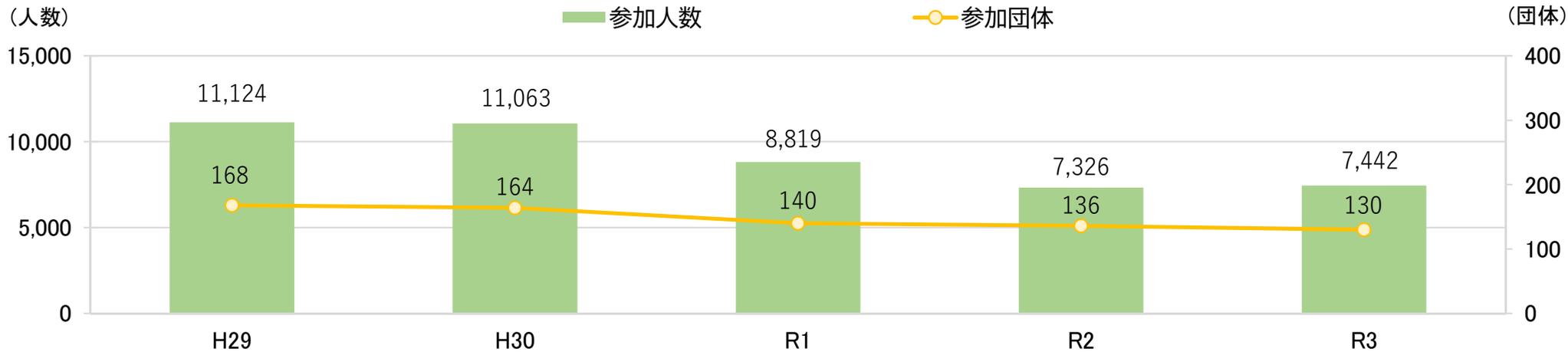


企業等における防犯講座の開催



県内全信用金庫との共同宣言

ふくいマイタウン・パトロール隊の推移



➤ 自主防犯団体は減少傾向

- 自主防犯団体に対して地域安全情報の提供や装備の貸出等を行い、継続的な防犯活動を支援
- 「福井県警察街頭防犯カメラ設置促進アドバイザー」を運用し、自治会や企業等に対して、効果的な設置等の情報提供などを行い、防犯カメラの設置を促進



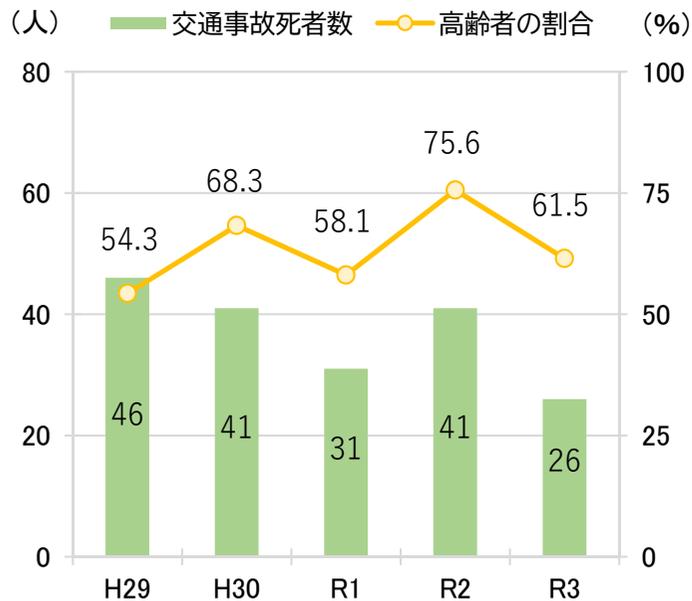
自主防犯団体への支援



アドバイザーによる情報提供・助言

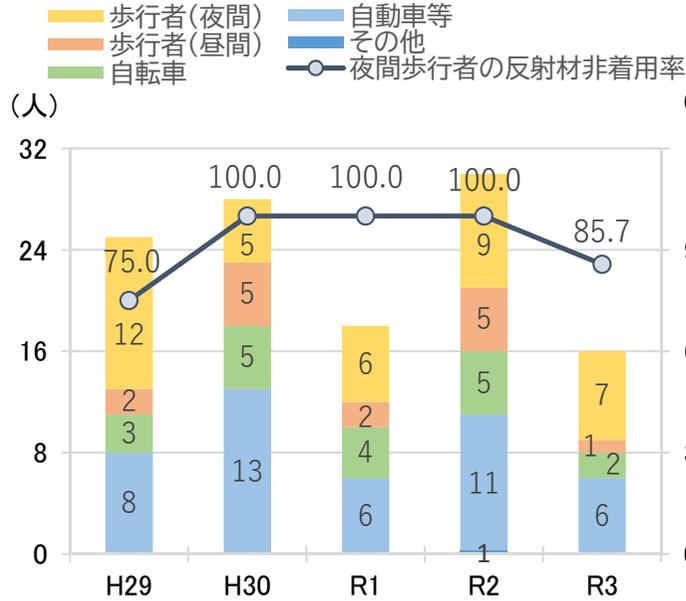
治安情勢

交通死亡事故の発生状況の推移



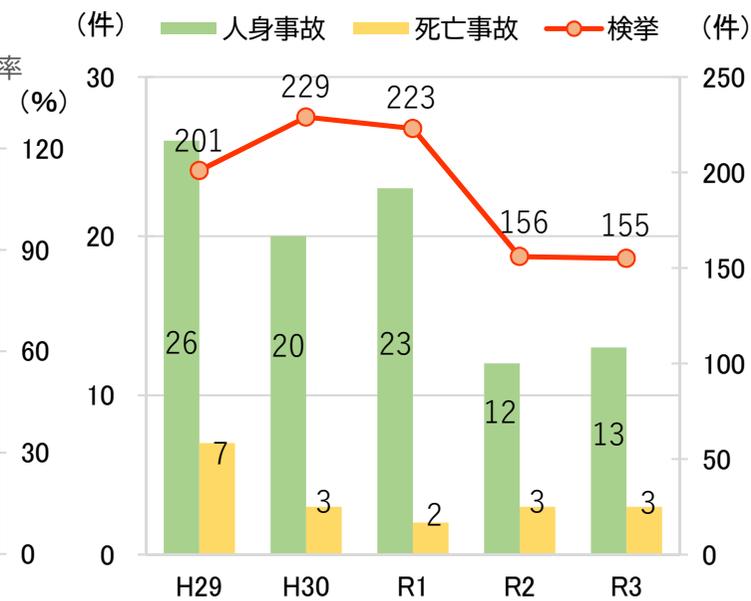
➤ 交通事故死者数は過去最少を記録

高齢者死者数の状態別推移



➤ 夜間歩行中の死者数及び同死者の反射材非着用率が高水準で推移

飲酒運転による交通事故件数等の推移



➤ 飲酒運転による死亡事故が依然として発生

- 反射材着用促進やハイビーム実践運動の広報啓発活動を行うなど、高齢者を交通事故から守る取組を推進
- 通学路における交通取締りや生活道路におけるゾーン30の整備など交通安全対策の推進

主な取組



反射材着用促進の広報啓発活動



ハイビーム実践運動TVCM



通学路における交通取締り

第5 テロ・大規模災害等緊急事態対策

主な取組

- 原子力施設や公共交通機関、大規模集客施設等におけるテロ対策の推進
- 関係機関と連携した大規模災害をはじめとする緊急事態への対処態勢の強化



原子力施設の警戒



鉄道事業者との合同施設点検

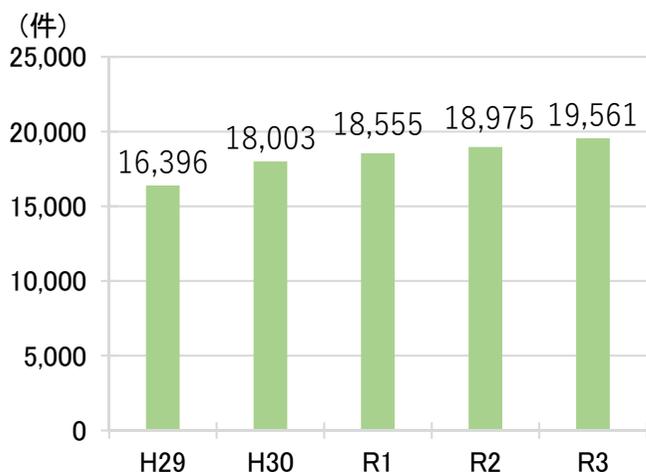


記録的大雨に係る救助活動(R3.7)

第6 治安基盤の強化

治安情勢

警察安全相談受理件数の推移



➢ 警察安全相談受理件数は増加傾向

主な取組

- 警察本部に県民サポート課を新設するなどして相談受理態勢を強化
- 福井県犯罪被害者等生活支援金給付制度の創設
- 警察活動の基盤となる警察署や交番・駐在所等の警察施設の計画的な整備

給付対象者	給付額
犯罪行為により亡くなられた方のご遺族	60万円
犯罪行為により重傷病を負った方	20万円

福井県犯罪被害者等生活支援金給付制度



越前警察署南交番(R3.4.15～)